

防災啓発～火山を見直す

キッズ火山フェスタ

◇内 容 子ども・家族向けの桜島溶岩加工体験、陶芸体験、砂防ダム見学、温泉掘り体験など

◇期 間 平成25年7月～8月のうち10日間

◇場 所 桜島ビジターセンターをはじめとする桜島周辺地域

桜島・火山防災学習パネル展

◇内 容 大正噴火を振り返り、火山防災を学ぶパネルを展示

◇期 間 平成26年3月まで(巡回方式で1施設当たり約10日～15日間)

◇場 所 市施設、県庁、関係市庁舎(鹿屋市、垂水市、霧島市)、市内商業施設など

桜島大正噴火100周年企画展

◇内 容 桜島や大正噴火に関する所蔵品などを活用した企画展、各施設を巡るスタンプラリー

◇期 間 平成25年6月～10月(企画展スタンプラリーは7月～8月)

◇場 所 市立美術館、かごしま近代文学館、県立博物館、県歴史資料センター黎明館、県立図書館

桜島・火山防災学習スタンプラリー

◇期 間 平成25年11月30日(土)まで

◇場 所 黒神埋没鳥居、湯之平展望所など計9ポイント

◇賞 品 セスナで飛び桜島遊覧ツアーや防災グッズセット、桜島特産品など

噴火の記憶を後世に

○町内会で黒神埋没鳥居を管理しています。○この鳥居は大正3年の大噴火により黒神一帯が火山灰で埋めつくされる中、「腰五社神社」の鳥居の上部だけが残ったものであり、当時の被害の大きさを物語っています。

○毎朝、黒神中学校の生徒たちが清掃してくれています。子どもたちをはじめ、後世に噴火の記憶を伝え、防災の意識を高めるためにも大切に管理していきたいです。

○スタンプラリーのポイントでもありますので、たくさんの人に来てもらいたいですね。

かわもと 信雄さん
(塩屋ケ元町内会会長)

記念碑拓本作成会

◇内 容 大正噴火の状況などが記された石碑を通して、火山防災を学ぶ

◇場 所 県内の大正噴火爆発記念碑

◇期 間 平成26年1月まで
※参加者募集は当該月の「市民のひろば」に掲載予定

桜島のことをもっと知りたい

○東桜島小学校にある大正噴火爆発記念碑の拓本作成会に家族で参加し、初めて大正噴火のことを知りました。

○記念碑には、たくさんの難しい言葉が刻まれていました。大正3年の大噴火のとき、測候所に桜島が爆発していないことを確認し、島民に避難の必要はないと伝えた村長さんの悔しい思いと教訓が込められているそうです。

○村長さんのことを思うととても心が痛く、二度と大きな噴火が起きてほしくないと思いました。

○拓本作りは、途中破けてしまうこともありましたが、上手にできてうれしかったです。

○これからいろいろなイベントに参加して、桜島のことを学びたいです。

ふるとの 古殿 陽向さん
(宇宿小学校3年生)

桜島大正噴火100周年事業

見直そう！火山の力 活かそう！桜島の魅力



桜島は大正3(1914)年の大噴火から平成26(2014)年1月12日で100年を迎えます。また、来月には世界的な「国際火山学地球内部化学協会(IAVCEI)2013年学術総会」が本市で開催されます。

今月の特集では、大正噴火100周年事業の一部と活火山桜島の魅力を紹介します。

【桜島大正噴火100周年事業 実行委員会事務局 286-2297】

20世紀最大の噴火

大正3年1月12日の桜島大正噴火は、日本における20世紀最大の火山噴火でした。同日午前10時過ぎに桜島西側の引ノ平で噴火を開始し、10分後には東側の鍋山付近から大音響とともに爆発。噴煙は8000m以上に達し、火山灰は遠くカムチャッカ半島(ロシア)まで達しました。翌日、西側から流出した溶岩は15日に沖合約500mにあった鳥島を埋没させ、東側から流出した溶岩は瀬戸海峡を埋め尽くし、1月末には桜島と大隅半島が陸続きになりました。

噴出した火山灰などの総量は約2kmと見積もられており、これは雲仙普賢岳噴火(平成2年)の約10倍に相当するといわれています。大量に降った火山灰や軽石は、東桜島村黒神ではわずか1日で2m以上も積もり、黒神埋没鳥居はこのときの火山灰・軽石で埋没したものです。

■噴火に伴う地震発生が大きな被害に
噴火から約8時間後の午後6時29分にはマグニチュード7.1の地震も発生しました。死者35人、行方不明23人、負傷者112人、全焼家屋2148戸、全半壊家屋315戸の被害が発生しましたが、多くは大噴火後に発生した地震によるものでした。

大正噴火100周年事業

本市では火山災害における過去の教訓を後世に伝えるとともに、火山に関するさまざまな情報を発信し、市民の防災意識の高揚を図ることを目的に、県などと実行委員会を組織し、「大正噴火100周年事業」を実施しています。テーマは「見直そう！火山の力。活かそう！桜島の魅力」。大きく次の4つの事業を展開中です。

- ◇IAVCEI2013連携～世界から学ぶ
- ◇防災啓発～火山を見直す
- ◇魅力発掘～火山を活かす
- ◇防災教訓継承～教訓を伝える(記念誌事業)

桜島大正噴火100周年事業

大正3年1月12日10時30分の噴火(県立博物館提供)



大正3年1月12日10時30分の噴火(県立博物館提供)

大正噴火100周年事業

桜島大正噴火100周年事業



部分は大正噴火で流出した溶岩

2013鹿児島カップ火山めぐりヨットレース参加艇募集

◇種 目 外洋帆走艇

◇日 程 7月20日(土)錦江湾インショアレース
21日(日)錦江湾トライアングルレース
22日(月)～24日(水)火山めぐりオフショアレース

◇申し込み 所定の応募用紙を6月28日(必着)までに鹿児島カップ火山めぐりヨットレース実行委員会事務局(観光振興課内)216-1327へ ※応募用紙は大会ホームページ(http://www.city.kagoshima.lg.jp/_1010/kanko/database/category/festival/summer/kazanmeguri.html)でダウンロードできます

錦江湾ファミリークルージング参加者募集

◇内 容 桜島フェリーに乗船しての錦江湾トライアングルレースの観覧やさまざまな船内イベント

◇対 象 どなたでも(中学生以下は保護者同伴)

◇日 時 7月21日(日)9時30分～11時30分

◇乗船場所 鹿児島港本港区桜島フェリーターミナル

◇定 員 900人(超えたら抽選) ◇参加料 無料

◇申し込み はがきかファクスで、住所、参加者全員の氏名、電話番号、「錦江湾ファミリークルージング参加希望」と書いて、6月28日(必着)までに〒890-8666紫原六丁目15-8 K T Sファミリークルージング係285-8966 (FAX256-0302)へ

連携事業

◇運 賃 大人…500円、小児…250円(旅客のみ。車両は車長による)

◇運航時間 約50分(1日1便)

◇出発時刻 11時05分鹿児島港発(桜島港までの片道運航)

◇問い合わせ 鹿児島港乗船券発売所223-7271

桜島を周遊してみよう

学べるミニ博物館

桜島ビジターセンター

桜島の噴火と成長の歴史、地域の観光情報や防災活動などを紹介した施設。ハイビジョンシアターやジオラマなどで生きた桜島を体感できます。

◇所在地 桜島横山町1722-29

◇開館時間 9時～17時(休館日なし) ◇入館料 無料

◇問い合わせ 桜島ビジターセンター293-2443

桜島港～湯之平展望所循環バス

サクラジマアイランドビューが便利！

◇運 賃(乗車区間による)
大人…110円～430円、小児…60円～220円

◇周遊時間 約60分(1日8便)

◇問い合わせ 交通局バス事業課257-2117、観光振興課216-1327

乗 必見！「ふだん見ることのできない桜島の顔」よりみちクルーズ船 毎日運航！

◇運 賃 大人…500円、小児…250円(旅客のみ。車両は車長による)

◇運航時間 約50分(1日1便)

◇出発時刻 11時05分鹿児島港発(桜島港までの片道運航)

◇問い合わせ 鹿児島港乗船券発売所223-7271

望 360度のパノラマ 湯之平展望所

錦江湾と鹿児島市街地、北に霧島連山、南に秀麗な開聞岳まで一望できる島内一の景勝地。ここから仰ぎ見る南岳の山容や噴煙を上げる様は圧巻！桜の花びらをデザインした屋根が印象的な展望所です。

◇所在地 桜島小池町1025

◇開館時間 9時～17時(見学はいつでも可)

◇利用料 無料

◇問い合わせ 観光交流センター298-5111

桜島・火山防災学習スタンプラリーの一部が回れる！

桜島・火山防災学習スタンプラリーの一部が回れる！

IAVCEI2013連携～世界から学ぶ

イベントの詳細は桜島大正噴火100周年事業実行委員会事務局286-2297、ホームページ<http://sakurajima100.org/>へ

IAVCEI2013学術総会が開催されます!!

◇期 日 平成25年7月20日(土)～24日(水)(5日間)

◇場 所 かごしま県民交流センター、かごしま市民福祉プラザなど

◇主 催 特定非営利活動法人日本火山学会

◇共 催 国際火山学地球内部化学協会(IAVCEI)、鹿児島市、鹿児島県

※この会議は基本的に火山学者による学術総会であり、聴講するには事前の登録が必要です(登録料あり)。詳しくは、IAVCEI2013公式ホームページ(<http://www.iavcei2013.com/>)をご覧ください

IAVCEI学術総会とは？

火山学分野の国際学術組織である国際火山学地球内部化学協会(International Association of Volcanology and Chemistry of the Earth's Interior:略称IAVCEI)が、おおむね4年ごとに開催する会議です。火山学関連の学術研究成果発表などを通じて、火山研究の発展と研究成果の普及や情報発信を行うことを目的としています。

この総会には世界40カ国から1000人以上の火山学者が参加し、最新の学術研究成果の発表が行われるなど、火山研究の発展や火山防災の実現の上でも重要な会議です。

火山シンポジウム

◇内 容 IAVCEI2013に参加する世界的火山学者の講演、高校生火山研究大賞受賞校の研究発表のほか、国内の火山学者や自治体関係者などによるシンポジウム

◇期 日 平成25年7月21日(日)

◇場 所 鹿児島市民文化ホール

ふれあい火山フェア (IAVCEI2013と同時開催)

◇内 容 海外の火山・桜島・霧島紹介コーナー、桜島大正噴火パネル展示、かごしま文化体験コーナー、桜島・火山の恵みミニ物産展、キッチン火山教室など

◇期 日 平成25年7月20日(土)・21日(日)

◇場 所 かごしま県民交流センター前庭・5階

楽しく学び、いざというときの備えを

○大正噴火に関する石碑の中に、「桜島の爆発は歴史に照らして将来も免れることはできない。異変に気付いたら噴火が起きる前に避難の用意をすることが大切である」と刻まれたものがあります。

○今回紹介した事業のほか、小学校高学年向けに、大正噴火をマンガで解説した冊子の作成や、来年1月12日の記念式典などを計画しています。

○7月～8月を中心として石碑にあるような、過去の教訓を伝え、いつか起こり得る噴火に関して考えていただけるよう、さまざまな事業を実施しますので、是非ご参加ください。

はなの 治野 章さん
(桜島大正噴火100周年事業 実行委員会事務局職員)